

2011年(平成23年)

9月3日

土曜日



津波被害の林 守ろう

山武の殿下海岸



山武市の殿下海岸の保安林で東日本大震災の津波被害を受けた保安林の再生活動が行われ、参加者が枯れたマツなどを伐採し、再生可能な木にはマークをつけた写真。来春には約6千本のマツなどを植林する予定という。

NPO法人「森のライフスタイル研究所」(本部・長野県伊那市)が主催。27日に首都圏から約40人がボランティアとして参加した。参加者は長さ約200

センチ、幅約30センチの保安林に入り、木の傷み具合を点検し、枯れた木はのこぎりで切断した。都内から来た会社員の女性(47)は「森の再生に力を貸したかった。木を倒すのは初めての体験で、重労働で疲れた」。